

横浜市立茅ヶ崎台小学校
令和3年度 学力向上アクションプラン

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
かしこく やさしい 元気な子 ひかり輝く 茅ヶ崎台	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えあうことで、自分の考えを深化させ、集団の考えを発展させる力 ・自らの心身の健康を管理し改善する力 ・夢や希望をもち、生き方を追求する力

(2) 中期取組目標

中期取組目標
<p>○かしこく やさしい 元気な子の育成を目指して、豊かにかかわり、心をつなぐ学校にします</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>学びの意欲を高める授業づくりを推進し、自ら問いをもち学び合う態度を育てます</u> ・心身ともに健康な生活習慣の確立と体力向上に向けた取り組みを推進します ・豊かな人間性の育成のため、縦割りペア活動の充実を図り、教育ボランティアの活用を推進します ・地域とのつながりを意識し、様々な体験を通して自分の住んでいるまちを愛する心を育てます

(3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	<p>①全学年で「学習のきまり」を年度初めに徹底するとともに、児童委員会活動と関連させて意識を高めることで、学習環境の整備に努める。</p> <p>②児童が主体的に課題に取り組み、解決をしていく力をつけるために、重点研で取り組む生活科や総合的な学習の時間を中心として、教科学習と主に、教材の開発・展開を行い、教師の授業力向上を図るとともに、児童の達成感を得られる実践につなげる。</p>
担当	重点研

(1) これまでの取組と子どもたちの傾向

- ・重点研を通して、子どもたちが主体的に関わったり取り組んだりして、課題解決に向けて生き生きと学び合う力の育成に取り組みました。特に校内での学習や各クラスでの取り組みに力をいれました。生活科では身近な生き物であるダンゴムシを育てる活動を通して成長の違いに気付き、よりよい世話の仕方を考えるなど進んで学習に取り組む姿が見られました。「みんなのこにこ大作戦」では家族をこにこさせるにはどうしたらよいかを考え、試行錯誤しながら家族と関わりました。また総合では国語から発展した「大豆100粒運動」や上手な読み聞かせの仕方を図書ボランティアの方に尋ね、都筑図書館との関わりを生かした「読み聞かせ活動」、西湖をテーマにして、自分たちで作上げた「西湖う フェスティバル」、今後の生き方につながる「キャリア教育」等を題材に取り組みました。感染予防に配慮しながら、地域の方と関わりをもち、実際に話を伺うことで実感を伴った気づきが生まれ、学びを深めました。
- ・子どもたちの傾向として、決まった課題にはしっかりと取り組むことができます。一方で、自ら課題を設定して解決する力はやや弱いようです。しかし、総合や生活科で様々な活動に取り組むことで、子どもたちにも少しずつ自分たちでテーマを設定し、計画的に課題解決に取り組む力が付いてきつつあります。とりくんだ材に対する思いが深まっていく様子も見られました。

(2) 今年度の取組

- ・子どもたちが思いをもって主体的に取り組む、自分の力で粘り強く課題を解決しようとする力をつけていくために、各クラス総合として子どもたちの思いに沿った教材開発を行っていきます。題材のさらなる開発や掘り起こし、外部機関との連携方法を工夫していきます。

2 令和3年度 学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

	育成を目指す 具体化した資質・能力	具体的取組
1年	◆好奇心を働かせ、自分なりの思いや考えをもつ力 ◆事実を大まかに捉える力	○生活科を中心とした体験活動を学習の中に位置づけ、自分の思いや考えを話そうとする意欲を高める。 ○様々な人に関わったり、児童の好奇心を高めたりするような材の開発に取り組む。 ○「読む、書く、話す・聞く」の基礎基本が身に付くように国語を中心にしながら様々な場を生かして指導する。
2年	◆言葉を使って人に伝えたり、興味をもって聞いたりする力	○豊かな体験活動を設定し、自分の言葉で思いや考えを相手に伝えようとする意欲を高める。 ○基礎基本を大切にしながら、一人ひとりの学びを把握し児童の発言や学習活動を価値づけていく。 ○具体的な活動や体験を通して、人やものとの関わりの中で自分の思いや考えをもつことのできる場面を増やし、気付きの質を高めていく。
3年	◆自分で問題を見つける力 ◆自分と違う意見を認める力	○総合、理科、社会等を中心とした体験的な活動の場を設定し、関心意欲を高め、自分で課題を見つける力を身につける。 ○様々な人との関わりの中で、自分の思いや考えと他者の意見とを比べながら聞き、他者の意見のよいところに気付く態度を養う。 ○学習の基礎基本を確実に身に付け、語彙力や表現力の向上を図る。
4年	◆自分の考えを他者に的確に分かりやすく伝える力	○学ぶ目的を意識して、教科横断的な学習を設定し、学習に対する意欲を高める。 ○様々な文章を読んだり書いたりする中で、語彙を豊かに自分の考えをもち、互いの考えを聞き合って、よさや違いを見つけることができる力を育てる。 ○国語や総合などの学習で、体験から学んだことや知識を伝える場面を設け、相手と目的に応じた伝え方のスキルを向上させる。
5年	◆自ら問題意識や見通しをもつ力 ◆他者の意見を取り入れて、自分をよりよい思考に深化させていく力	○総合を含めた体験的な学習や教科横断的な学習を通して、自ら課題を設定し、見直しをもって粘り強く取り組む態度を養う。 ○各教科で得られる知識や技能の定着を図り、様々な場面で思考・判断・表現ができるよう、言語活動の充実化を図る。 ○自他の考えの共通点や相違点を見出し、それぞれの意見を尊重するとともに、周りの人たちと共に考え、よりよい考えや豊かな発想が生まれるような学習活動を行う。
6年	◆課題に粘り強く取り組み、集団で高め合う力	○総合を含めた体験的な学習や教科横断的な学習を通して、思考・判断・表現する場面を効果的に位置づけ、自ら学ぶ意識、態度の向上を図る。 ○基礎基本を確実に習得できるよう既習の学習を生かした学習活動を行う。 ○自他の考えをすり合わせながら、よりよい考えに発展させられるような話し合いを積み重ね、主体的に問題解決に取り組む力を育成する。
個別支援学級	◆好奇心を働かせ自分なりの思いや考えをもつ力	○児童の実態に合った適切な教材や指導場面、手立てを工夫しながら、課題を自分事として捉え、自分の思いや考えを自分の言葉でみんなに伝えたいという意欲や気持ちを高める。 ○様々な体験的な活動を通して、学習意欲や主体性を引き出し、学習の楽しさや友達と共に学ぶ良さを実感できるように極め細やかな指導・支援をしていく。 ○個々の児童の実態に合った目標を設定し、学習の基礎・基本や学習のルールを確実に身に付ける。分からないことや苦手なことでも失敗を恐れずに一生懸命取り組む態度や姿勢を大切に、褒め励まししながら前向きな気持ちを引き出していく。 ○一人ひとりの児童の心や困り感に寄り添いながら、丁寧に指導・支援する。 ○対象に興味・関心を深めたり、気付きの質を高めたりできるように、材に繰り返し関わったり、外部関係機関との連携を工夫したりする。